

組織・戦略

藤田 誠 教授

1. 担当教員の専門分野（研究領域）・現在の研究テーマ

従来は、経営戦略論におけるResource Based View (RBV) の発想に基づき、企業の「組織能力」について研究してきた。これまでの成果は『企業評価の組織論的研究』（中央経済社刊、2008年日本経営学会賞受賞）にまとめている。最近は、産業クラスターの競争力強化を企業の組織能力強化の観点から理論化することに関心を持っている。このテーマは、イノベーション、知識移転、知識創造、ネットワーク理論などとも関連しており、拡がりのあるテーマであり、実践的にも意義深いと考えている。

2. 指導方針

当研究指導は「実践的かつ理論的な思考様式の育成」を主な目標とするが、理論的な側面をより重視する。現代は、グローバル化、情報化、知識資本主義化などの進行により、従来とは異なる経営戦略とそれに呼応した組織の構築が求められている。指導では、こうした企業経営に関する基本認識を前提として、新しい時代に即応した経営戦略とそれにふさわしい組織のあり方を、実践的かつ理論的に考察出来る思考力育成を目標とする。

指導においては、内外の文献・資料のサーベイが基本になることは、いうまでもない。理論的な含意をつねに意識した指導を行う。しかし文献サーベイだけでなく、定量的および定性的な研究方法のトレーニングも重視する。とくに論文作成プロセスにおいては、研究方法あるいはリサーチ・デザインを意識した指導を行い、自立した研究者養成を目指す。

3. 学生に対する要望・その他

多少曖昧でも構わないので、自分の問題意識あるいは研究テーマを持っている人が望まれる。博士後期課程は単に勉強する場ではなく、基本的には自分で研究する場であることを自覚した者が望まれる。また、定量的分析手法あるいはインタビューなどの定性的研究方法に関心がある者を歓迎する（統計や数学に関する予備知識を前提とはしない）。